

EVO システム利用規約(団体用)

第1章 総則

第1条 目的

1. この利用規約（以下「本利用規約」といいます。）は、株式会社 EVO（以下「当社」といいます。）が第1条に定めるサービス（以下「本サービス」といいます。）のご利用条件を本サービスのユーザー（第2条に定める「ユーザー」といいます。）と当社の間で定めるものです。本サービスのご利用にあたり、本利用規約へのご同意が必要となります。
2. 当社が、当社の提供するウェブサイト、アプリケーション上、その他販促用品等で掲載する、本サービスの利用に関するルールおよび諸注意等は、本利用規約を構成するものとします。
3. 本規約の内容と、前項の諸注意およびその他本利用規約外における本サービスの説明等が異なる場合、本利用規約が優先して適用されるものとします。

第2条 定義

本規約において使用する用語は、以下の各項に定めるとおりとします。

1. 「本サービス」とは、当社が提供する全サービスをいいます。尚、各サービスで別途利用規約が追加されることがあります。
2. 「ユーザー」とは、本条に定める契約者、生徒等および教職員等を個別に又は総称したものをいいます。
3. 「契約者」とは、当社所定手続に従って本サービスの利用を申し込み当社の承諾を受けた法人、その他の団体等をいいます。
 - (1) 学校（学校教育法に定める「学校」およびそれに準じる認定在外教育施設など）
 - (2) 教育委員会
 - (3) 学校を管理する地方自治体
 - (4) 民間教育事業者（上記以外の学習塾、コンサルティング事業者、研修事業者など）
 - (5) 前号に定めるもの以外の会社、個人事業主
4. 「生徒等」とは、契約者の管理下において本規約に同意の上、本サービスを利用（トライアルを含みます。）する利用者として、契約者が設定する個人（生徒、保護者等）をいいます。
5. 「教職員等」とは、契約者の管理下において本規約に同意の上、本サービスを利用（トライアルを含みます。）する利用者として、契約者の法人・団体等に所属する従業員その他当社が認めたものをいいます。
6. 「管理者アカウント」「ユーザーアカウント」とは、システムにより発行される ID およびパスワードなどによって構成される本サービスへアクセスするためのアカウントをいいます。「管理者アカウント」には本サービスの管理権限が付与されます。「ユーザーアカウント」には、教職員等用と生徒等用など機能が制限された複数種のアカウントがあります。
7. 「提供コンテンツ」とは、ユーザーが本サービスを通じてアクセスすることができる文書、画像、教材データ（有料オプション教材を含む）、ソフトウェア、プログラム、コードその他の情報をいいます。

8. 「投稿コンテンツ」とは、ユーザーが本サービスを利用して投稿、送信する文書、画像、教材データその他情報のことをいいます。
9. 「保存データ」とは、投稿コンテンツを含む、ユーザーが保存した全てのコンテンツのことをいいます。
10. 「知的財産権」とは、著作権、特許権、実用新案権、意匠権その他の知的財産権、並びにそれらの権利を取得し又はそれらの権利につきその登録等を出願する権利をいいます。

第3条 本利用規約の適用および変更

1. 本利用規約は、本サービスの利用に関する条件をユーザーと当社との間で定めることを目的とし、ユーザーと当社との間の本サービスの利用に関わる一切の關係に適用されます。ユーザーは、本利用規約に同意をした上で、本利用規約の定めに従って本サービス本利用規約の定めに従って本サービスを利用しなければなりません。個別規程がある場合、ユーザーは本利用規約のほか個別規程の内容も遵守しなければならないものとし、個別規程は本利用規約の一部を構成するものとし、なお、生徒等は当社および契約者間の契約に基づき本サービスを利用する立場にあることから、当社および契約者間の当該契約が解除・終了した場合、当該契約の終了以降、生徒等は本サービスを利用することができません。
2. 当社は、必要に応じ、本利用規約を変更できるものとし、当社は、本利用規約を変更する場合には、ユーザーに当該変更後の本利用規約の内容およびその効力発生時期を所定の方法により公表するものとし、本利用規約の変更の効力が発生した後、ユーザーが申し出なく、本サービスを利用または解約の取手を取らなかった場合には、ユーザーは本利用規約の変更に同意をしたとみなされるものとし、
3. 生徒等が未成年である場合は、当該生徒等は、親権者など法定代理人の同意を受けたくて本サービスを利用しなければなりません。また、契約者は、生徒等が未成年である場合、当該生徒等の放置代理人が本規約の内容に同意していることを確認しなければなりません。

第4条 契約

1. 本サービスの利用を希望する契約者は、本サービスの仕組みを理解の上、別途当社が指定する方法により申し込みを行うものとし、
2. 前項の申し込みがされた場合、当社が当社の基準に基づく審査により判断を行い、当社による意思表示が契約者に到達した時をもって、当社と契約者の間に本契約が成立するものとし、
3. 本契約の有効期間は、本条に基づく本契約成立日から、当該申込書に記載された期間までとし、ただし、当社および契約者から別段の意思表示がないときは、本契約は契約満了日の翌日から1ヶ月間自動的に更新されるものとし、以後も同様とします。なお、本利用規約に別途定める場合を除いて、本契約有効期間内における契約者による中途解約は認められません。
4. 契約者は、本サービスを利用するに当たって、予め契約者内における校則、社内ルールその他の諸規則を確認し、本サービス利用に伴う影響等を勘案した上で、自己の責任において利用有無を決定するものとし、
5. 契約者は、申し込み時に記載した情報その他本サービスに関連して当社に提供した情報に変更がある

場合、以下に従って常に最新の情報となるよう修正しなければならないものとします。

(ア) 契約情報等に変更が生じた場合、電話および電子メールを使用して、変更後の内容を速やかに当社へご連絡ください。

(イ) 変更が生じたにも関わらず、前項の手続がなされなかった場合、当社が変更前の情報を基に連絡等した内容、また連絡が取れなかったことに起因して、ユーザーまたは第三者に対して生じたいかなる損害も、当社は別段の定めのない限り、責任を負いません。

第5条 アカウントの発行および管理

1. 本契約が成立した契約者には管理者アカウントが発行され、次項に定めるユーザーアカウント発行を含む本サービスに関する管理権限が付与されます。
2. 契約者は、別に定める EVO 利用規約(個人用)に同意した生徒等および教職員等に対しユーザーアカウントを発行することが出来ます。ユーザーアカウントの利用による本サービス利用上の行為は、生徒等および教職員等の行為とみなすものとし、契約者は自らの責任のもとで生徒等および教職員等がユーザーアカウントを適切に管理するよう管理を行うものとします。
3. 契約者を含むユーザーは、アカウントを第三者に譲渡、貸与、開示等をしてはならず、アカウントを厳重に管理する義務を負うものとします。当社は、アカウントの第三者の盗用に伴う損害の発生について、一切の責任を負わないものとします。なお、契約者は契約者の都合により、第2条2項に定めるユーザー以外の第三者に使用させる場合には、事前に当社の承諾を得た上で、自己の責任において本利用規約に定める事項を周知徹底させた上でこれを行うものとし、これに関する事故等について、当社は一切の責任を負わないものとします。
4. 契約者は、ユーザーアカウントを利用するものが、卒業、退塾、退職等により不要になった場合には速やかに契約者の責任で自らユーザーアカウントを削除するものとします。当社は、当該削除をしなかったことによる契約者の不利益に責任を負わないものとします。

第6条 利用停止

1. 当社は、契約者が本利用規約に違反した場合、または生徒等および教職員等が当社の別途定める EVO 利用規約(個人用)に違反した場合、契約者および生徒等および教職員等に対し事前に通知することなく、当該契約者、当該生徒等および教職員等に対して、本サービスの全部または一部の利用の一時停止、将来に渡った利用の禁止等、当社が適切と判断した措置を行うことができるものとします。この場合、既に利用料を支払済みの場合においても、理由の如何を問わず、当社からの返金はありません。なお、契約者または生徒等および教職員等が本利用規約に違反したことにより生じる一切の損害について、契約者は責任を負うものとします。
2. 当社は、当社が本条に基づく措置を行ったことに起因して契約者および生徒等および教職員等に生じた損害につき、何らの責任も負わないものとします。
3. 本サービスにおいて契約者からお預かりするデータに契約者が取得した個人情報(個人情報保護法2条1項に定められたものを指します。)が含まれる場合、当社は、当該個人情報の取扱いについて契約者より個人情報保護法第23条第5項第1号に定める委託を受けるものとして契約者における利用目的の範囲において取り扱います。また、契約者から開示を受けた個人情報を当社において契約者

に対する本サービス提供のために統計化することについても、当該委託業務に含まれるものとします。

4. 前項の委託業務に関連して契約者から開示された個人情報について、当社は、個人情報の保護に関する法律の規定に則って安全管理のための必要かつ適切な措置を講じます。

第7条 秘密情報の取り扱い

1. 契約者は、本サービスの利用を通じて知りうる当社の一般に公開していない情報（本サービスに関する情報・しくみ・ノウハウ・プログラムソース等を含みます。）および本契約に関して当社より秘密である旨の明示がなされた上で開示された情報（総称して、以下「機密情報」といいます。）を、機密として保持すると共にそのための合理的な措置を講じ、当社の事前の承諾なく第三者へ開示および漏洩してはならないものとします。
2. 契約者は、機密情報が漏洩または紛失したことが発覚した場合、直ちに当社に通知し、その後の対処について協議するものとします。

第8条 禁止行為

1. 契約者は、本サービスを利用するにあたって、次の各号に定める行為または当該行為に該当する恐れのある行為をしてはならないものとします。
 - (1) 本サービスを日本国外で利用する、または生徒等および教職員等に利用させる行為
 - (2) 意図的に虚偽の情報または誤解を招く情報を登録または送信する行為
 - (3) 著作権、商標権、プライバシー権、氏名権、肖像権、名誉等の他人の権利を侵害する行為
 - (4) 個人や団体を差別または誹謗中傷する行為
 - (5) 他人の個人情報および個人のプライバシーを侵害する行為
 - (6) 法令（特定商取引法を含みますが、これらに限られません。以下同じ。）、公序良俗に反する行為、またはそのおそれがある行為
 - (7) 当社が本サービスにおいて提供する各種サービスを不正または私的な目的をもって利用する行為
 - (8) 本サービスの運営を妨げる行為、または当社の信頼を毀損する行為
 - (9) その他当社が不適切・不適當であると判断した行為
2. 前項に掲げる行為によって当社または第三者に損害が生じた場合、契約者はすべての法的責任を負うものとし、当社および第三者に損害を与えないものとします。
3. 当社は、契約者が第一項各号に掲げる行為を行ったと合理的に判断した場合、本利用規約第6条に基づく対応を取ることができるものとします。

第9条 知的財産権等の帰属

1. 契約者は、本サービスおよび本サービスに関連して発生する著作物、システム等についての著作権その他の知的財産権は、当社または当社に利用許諾を行った第三者に帰属するものであることを確認し、いかなる目的であれ転載、複製、送信、翻訳・翻案、改変・追加等の一切の使用行為を行わないものとします。
2. 前項の規定に違反して紛争が生じた場合、契約者は、自己の費用と責任において、当該紛争を解決するとともに、当社および第三者に一切の損害を与えないものとします。

第10条 損害賠償

1. 本利用規約に定める義務に違反すること、その他契約者による本サービスの利用により当社に損害が発生した場合、契約者は、当社に対し、当社に発生した一切の損害（弁護士費用を含みますが、これに限られません。）を賠償する責任を負うものとします。
2. 契約者による本サービスの利用に関して、当社と第三者との間で紛争等が生じた場合、契約者は当社を一切免責するものとし、自らの責任と一切の費用負担において当該紛争等を速やかに解決し、その経過を当社の求めに応じて適時に当社に報告するものとします。万一、当社が当該第三者に対して損害賠償等の支払を余儀なくされた場合には、契約者は、当社に対しその全額を支払うとともに、その解決のために要した弁護士費用その他一切の諸経費を支払うものとします。

第11条 不可抗力

1. 当社は、通常講ずるべき対策では防止できないウイルス被害、停電被害、サーバー故障、回線障害、および天変地異による被害、その他当社の責によらない不可抗力に基づく事由（以下「不可抗力」といいます。）による被害が契約者に生じた場合、一切責任を負わないものとします。
2. 前項は、当社の委託先、提携先、その他本サービス提供に必要な役割を担うもの（以下「委託先等」といいます。）に発生する不可抗力においても適用されるものとし、委託先等が事業を行う国・地域における自然災害、暴動、労働争議および政情不安等の提携先等の責によらない事由による被害が契約者に生じた場合においても当然に適用されるものとします。
3. 当社は、不可抗力に起因して本サービスにおいて管理または提供されるデータが消去・変更されないことを保証しません。

第12条 当社の責任

1. 当社は、(i) 本サービスの提供に不具合やエラーや障害が生じないこと、(ii) 本サービスを通して得られる情報等が正確なものであること、(iii) 本サービスを通じて提供される役務、情報等が契約者の期待を満たすものであることのいずれについても保証するものではありません。
2. 当社は、契約者に対して、本サービスを利用することによる効果、有用性、目的適合性、完全性、正確性等（本サービスの利用による利用者の学力の向上等を含みます。）について一切保証しないものとします。なお、契約者は、当社が契約者に対して提供する営業資料等において本サービスを利用することによる効果、有用性、目的適合性、完全性、正確性等に関する記述をした場合でも、当該記述は当社の予測を述べた記述であり、契約者が本サービスを利用することによる効果、有用性、適合性、完全性、正確性等を何ら保証するものではないことを確認します。
3. 契約者は、自己の責任により本サービスを利用するものとし、当社は、本契約またはその履行、ならびに本サービスの利用に関して契約者につき生じた損害について、当社の故意または重大な過失による損害であることが明白な場合を除き、何らの賠償義務を負わないものとします。なお、当社が責任を負う場合であっても、かかる責任は、直接かつ通常の損害の範囲に限られるものとします。なお、本契約に基づき支払済みの利用料相当額を上限とします。
4. 契約者および当社または代理店間において本契約が終了した場合、当該契約者に属する生徒等およ

び教職員等は当然に本サービスを利用することができなくなるものとし、当社は生徒等および教職員等に対し事前に通知する等、生徒等および教職員等に告知する義務を負わないものとし、なお、生徒等および教職員等が本サービスを利用できなくなったことに基づき、生徒等および教職員等に生じた損害について、当社の故意または重大な過失による損害であることが明白な場合を除き、当社は何らの賠償義務を負わないものとし、

5. 契約者および当社もしくは代理店間においてその理由の如何を問わず本契約が終了した場合、生徒等および教職員等が退会をした場合、または生徒等および教職員等が退学・退塾等によって契約者に所属しないこととなった場合において、当社が、契約者または生徒等および教職員等が本サービス上に登録した情報および利用履歴の全部または一部を削除したとしても、契約者および生徒等および教職員等はこれに関して一切異議を唱えないものとし、契約者および生徒等および教職員等は、自らの責任で必要な情報を保管するものとし、なお、本項は本項に定める場合以外において当社が当該情報および履歴等を保管する義務を定めるものではありません。

第2章 利用料

第13条 利用料

1. 本サービスの利用料は、当月末日時点で有効だった生徒等のユーザーアカウント数、当月中に利用された教材数等を当月末日時点で集計し、別に定める価格表の利用単価を掛けて計算した金額を当社より請求を行います。
2. 前項の利用料は、翌月末日までに当社が指定する金融機関口座に振込で支払うこととします。また、支払に掛かる振込手数料等の費用は契約者の負担とします。
3. 利用料その他当社に対する債務について支払期日を経過してもなお支払いがない場合には、請求書に記載の支払期日の翌日から起算して、年 10.0%の割合での日割り計算（閏年の日を含む場合も 1 年 365 日として計算するものとし、）による遅延損害金を当該契約者に当社にお支払いいただく場合があります。
4. 契約者が個別に定める支払期日までに本規約ならびに契約書に定める利用料金その他当社に対する債務の全部または一部を支払わない場合、当社は、あらかじめその理由および利用停止日を当該契約者に通知した上で、当該契約者および当該契約者が管理する生徒等のサービス利用を停止することができるものとし、ただし、当社が別途認める期間内にその利用料金その他債務が支払われた場合、当社の判断により、当該契約者とのサービス利用契約を継続するか、または、当該契約者への本サービスの提供を再開することがあります。ただし、当社はこれらの対応を行う義務を追うものではありません。なお、本サービス提供再開の場合、契約者には再開月についても利用料金の支払い義務が発生します。また、提供と停止した月も発生し、提供停止日が暦月の途中である場合でも、日割りによる減額、返金等は一切行いません。

第14条 提供コンテンツの知的財産権等

1. 本サービスおよび提供コンテンツに関する知的財産権その他の権利は全て当社（または当社に利用許諾、実施許諾もしくは使用許諾（以下総称して「使用許諾」といいます。）している者）に帰属しており、本利用規約に基づく本サービスの利用許諾は、本サービスに関する当社（または当社に使用許諾している者）の知的財産権の使用許諾を意味するものではありません。
2. 当社は、提供コンテンツにおいて、ユーザーに対し、本サービスの利用を唯一の目的とする、譲渡および再許諾不可能な非独占的利用権を付与します。ユーザーは、提供コンテンツを、本サービスが予定している形態を超えて利用（複製、複写、改変、第三者への再許諾その他のあらゆる利用を含みます。）することはできません。
3. 当社は、投稿コンテンツを当社のサービスやプロモーションのために、投稿コンテンツを使用することがあります。その場合、当該コンテンツの帰属を確認の上、許諾を受けるものとする。

第15条 投稿コンテンツの帰属

1. ユーザーは、自らがアップロードする投稿コンテンツが第三者の著作権その他権利を侵害しないことを保証するものとします。投稿コンテンツに関連して第三者と紛争が生じた場合や当社に損害が発生した場合については、第10条の規定に従うものとします。また、当社が投稿コンテンツが第三者の権利を侵害しているまたはその恐れがあると判断した場合、当社は当該コンテンツを削除することができるものとします。

第16条 保存データの取扱

1. 保存データはユーザー自身により管理されるものであり、本利用規約に基づき許諾または制限される範囲を除き、本データに関する権利はユーザーに帰属します。
2. 当社は、ユーザーの個別の許諾を得ること無く、システムの故障・停止時の復旧の便宜のために保存データを任意でバックアップできるものとし、ユーザーはこれをあらかじめ包括的に許諾するものとします。
3. 当社は、利用期間が終了した場合、別途指定する保管期間の経過後、保存データを削除します。当社は、利用期間終了後は、保存データについて、その保管、削除、バックアップ等に関してユーザーおよび第三者に生じた損害につき、別段の定めのない限り、責任を負いません。
4. 当社は、以下の場合、保存データにアクセスおよび活用することができるものとします。
 - (ア) 本サービスならびにシステムの安全な運営のために必要な場合
 - (イ) 運営上またはシステム上の問題を解決または防止するために必要な場合
 - (ウ) サポート上の問題に関連して、ユーザーから要請があった場合に問題を解決するために必要な場合
 - (エ) 法令または本規約の遵守状況を確認するために必要な場合
 - (オ) 本サービスのサービス向上のために、匿名化した保存データを活用する場合
5. 当社は、契約書および本利用規約に定める場合、または法令の手続き上必要とされる場合を除き、ユ

ユーザーの承諾を得ること無く、保存データを開示・公開することはありません。

6. 本サービスの機能として、外部サービスと連携する場合、ユーザーが当該機能を利用する場合には、保存データが当該外部サービス運営者に提供される場合があります。

第4章 通信・利用環境について

第16条 通信環境および通信費用

1. 本サービス利用時などに発生する通信費用はユーザーが負担するものとします。
2. ユーザーは、当社が登録時に本サービスのシステム上で示す推奨環境を満たす仕様の機材等を、ご自身で用意することとします。推奨環境を満たさない環境で本サービスを利用し、もしくはユーザーに起因する通信トラブル等で授業が十分に受けられなかった場合に発生した損失の補償は致しかねます。

第17条 サーバーメンテナンスおよびシステム障害時の対応

1. 当社はシステム環境の維持改善のため、不定期にサーバーメンテナンスを実施します。サーバーメンテナンスはできる限り本サービス利用への影響がない時間帯に実施することとし、実施日時は事前にホームページ等にて通知することとします。
2. システム障害等により、サービス運用が不可能な状況となった場合、当社はホームページ等でその状況を通知します。また、当該期間に発生した損失については、当該期間の利用料を上限として補償するものとします。

第5章 一般条項

第18条 反社会的勢力の排除

1. 当社および契約者は、現在、暴力団、暴力団員、暴力団員でなくなった時から5年を経過しない者、暴力団準構成員、暴力団関係企業、総会屋等、社会運動等標ぼうゴロまたは特殊知能暴力集団等、その他これらに準ずる者（以下これらを「暴力団員等」といいます。）に該当しないこと、および次の各号のいずれにも該当しないことを表明し、かつ将来にわたっても該当しないことを確約します。
 - (1) 暴力団員等が経営を支配していると認められる関係を有すること
 - (2) 暴力団員等が経営に実質的に関与していると認められる関係を有すること
 - (3) 自己、自社もしくは第三者の不正の利益を図る目的または第三者に損害を加える目的をもってするなど、不当に暴力団員等を利用していると認められる関係を有すること
 - (4) 暴力団員等に対して資金等を提供し、または便宜を供与するなどの関与をしていると認められる関係を有すること
 - (5) 役員または経営に実質的に関与している者が暴力団員等と社会的に非難されるべき関係を有すること
2. 当社および契約者は、自らまたは第三者を利用して次の各号の一にでも該当する行為を行わないことを確約します。
 - (1) 暴力的な要求行為

- (2) 法的な責任を超えた不当な要求行為
 - (3) 風説を流布し、偽計を用いまたは威力を用いて相手方の信用を毀損し、または相手方の業務を妨害する行為
 - (4) 法令、公序良俗に反する行為、またはそのおそれがある行為
 - (5) その他前各号に準ずる行為
3. 当社および契約者は、前2項の表明に反して、相手方が暴力団員等あるいは前2項各号の一にでも該当することが判明したときは、何らの催告をせず、本約款に基づく一切の契約を解除することができ、相手方はこれに何ら異議を申し立てないものとします。なお、この場合、表明に反した当事者は、期限の利益を喪失し、直ちに相手方に対する債務の弁済を行うものとします。

第19条 解除

1. 当社または契約者は、相手方が次の各号の一に該当するときには、直ちに本契約の全部または一部を解除でき、自己に生じた損害について、本約款の定めに基づき相手方に損害賠償請求ができるものとします。
- (1) 本規約の規定に違反したとき
 - (2) 支払不能となったとき、支払を停止したとき、または手形交換所の不渡処分があったとき
 - (3) 公租公課を滞納したとき
 - (4) 差押、仮差押、仮処分、競売、強制執行、滞納処分等の公権力の処分を受けたとき
 - (5) 破産、民事再生、会社更生の申立がなされたとき、事業の全部もしくは重要な一部の譲渡・承継があったとき、営業の停止があったとき、解散の決議がされたとき、もしくは清算に入ったとき、またはこれらの恐れがあるとき
 - (6) 代表者の所在が不明になったとき
 - (7) 債権者に対し、通常の時期、方法または態様によらない債務の弁済、担保提供等の事実があったとき
 - (8) 法令に違反したとき、または違反する恐れがあるとき
 - (9) 前条に定める表明保証に違反したとき
 - (10) 相手方の信用を傷付けたとき、または相手方に不利益をもたらしたとき
 - (11) 1か月以上、当社からの連絡に対し応答がないとき
 - (12) 契約者が統合・廃校等により経営環境に大きな変化が生じたとき
 - (13) 契約者が募集停止、その他利用者の差別的な取り扱いまたは言動等、学生募集活動上望ましくない行為を行ったとき
 - (14) 契約者の信用に不安が生じたと当社が判断したとき
 - (15) その他本利用規約に定める事項を遂行できる見込みのなくなったとき
2. 契約者は、前項の規定により本契約を解除された場合には、期限の利益を喪失し、直ちに当社に対する一切の債務を弁済するものとします。また、既に利用料を支払済みの場合においても、理由の如何を問わず、当社からの返金は致しません。

第20条 協議解決

契約者および当社は、本利用規約に定めのない事項が生じた場合、または本契約の内容に疑義が生じた場合、お互い誠意をもって協議し、その解決を図るものとします。

第 21 条 管轄裁判所

1. 本契約および本規約上の準拠法は日本法とし、本規約および本サービスに関連する紛争については、訴額により、札幌地方裁判所苫小牧支部または苫小牧簡易裁判所を第一審の管轄裁判所とします。

2022 年 3 月 1 日制定

2022 年 7 月 25 日改定